

施策評価(令和元年度)

1 基本項目

基本目標	4	ひとと環境にやさしい安全で快適なまち
基本施策	2	自然と調和した安全で快適な都市の形成
施策	32	上水道
基本方針		
安全でおいしい水を安定供給できるよう、水道施設の適切な維持管理および水質管理に万全を期すとともに、事業の健全経営に努めます。		

2 事後評価結果

計画事業名	進捗状況	妥当性 (必要性)	効率性 (手法)	有効性 (成果)	今後の 方向性
水道管路の耐震化	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
送水管路の二重化	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
羽村駅西口土地区画整理事業地区の配水管網の整備	計画を見直し完了	A	A	A	現状のまま継続
はむらの水PR事業の充実	計画を見直し完了	A	A	A	現状のまま継続
危機管理体制の強化	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続

3 施策評価結果

<p>施策32「上水道」では、5事業について評価を実施した。</p> <p>進捗状況については、「水道管の耐震化」などの3事業は、「計画どおり完了」であり、滞りなく履行されている。「羽村駅西口土地区画整理事業地区の配水管網の整備」では、埋蔵文化財遺跡調査に時間を要したため、本工事を令和2年度事業に変更したこと、「はむらの水PR事業の充実」では、水の保全に関する宣言について、引き続き庁内プロジェクト会議において意見を集約し進めていくことから、「計画を見直し完了」としている。</p> <p>各事業における妥当性(必要性)、効率性(手法)、有効性(成果)については、すべてA(適切なもの)と評価している。「はむらの水PR事業」では、水の保全に関する宣言の制定以外の事業については、予定していた事業は完了していることから、計画どおり実施できたと捉え評価している。</p> <p>本施策の基本方針は、「安全でおいしい水を安全供給できるよう、水道施設の適切な維持管理および水質管理に万全を期すとともに、事業の健全経営に努める」ことであり、「水道管路の耐震化」においては、「水道管路耐震化更新計画」に基づき耐震化を進め、耐震性能を満たす水道管路の割合は、23.3%と順調に進捗しており、「送水管の二重化」では、基本設計業務委託において、事前調査を進めているほか、「危機管理体制の強化」では第一水源のフェンス改修工事などが予定通り完了していることから、基本方針に沿った事業は計画どおり進捗が図られている。</p> <p>また、「はむらの水PR事業の充実」では、水の保全に関する宣言の制定について、庁内プロジェクト会議において、意見を集約し、制定時期を絞り具現化を図る必要があることから、計画を見直したほか、羽村の水に関するPRを行い、広く周知に努めたことで、一定の効果を生み出していることから、上記の取組みを通じて、施策に掲げた基本方針の達成に向けて着実な推進が図られているものと評価する。</p>
--

1.基本項目	作成部署	上下水道部		上下水道設備課	
事業名	開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 水道管路の耐震化	不明	年	継続	自治事務(市独自)	直営
01		年			
02		年			
03		年			
04		年			
05		年			
関連課					
基本目標4 ひとと環境にやさしい安全で快適なまち	施策区分	32	上水道	管理No.	1

2.事業の概要

施策の基本方針	安全でおいしい水を安定供給できるよう、水道施設の適切な維持管理および水質管理に万全を期すとともに、業務の健全経営に努めます。
事業内容	水道管路の耐震化を推進するため、「水道管路耐震化更新計画」に基づき、避難所などに指定されている公共施設周辺を優先しながら、計画的に管路の更新・耐震化に取り組みます。
根拠法令	水道法
条例	給水条例
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	配水管の耐震化 L=1,914.9m 新設 192.8m 管種替 1,722.1m 管路耐震適合率 20.3% 管路耐震化率 2.1%	同左 L=1,688m 同左 1,688m 同左 20.3% 同左 3.0%	同左 L=2,233m 新設 110m 同左 2,123m 同左 20.3% 同左 4.3%	同左 L=2,173m 同左 180m 同左 1,993m 同左 20.2% 同左 5.6%

4 投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	人	H	人	H	人	H	人	H
主事・主任職	2人	977 H	2人	977 H	2人	977 H	2人	977 H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費	202,193	217,093	215,686	222,244
人件費(係長職)				
人件費(主任・主事職)	6,165	6,165	6,165	6,165
総事業費(合計)	208,358	223,258	221,851	228,409
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	208,358	223,258	221,851	228,409
財源内訳(合計)	208,358	223,258	221,851	228,409

③コスト計算

ア 市民	55,565	人における1人あたりのコストは、	114,856	円
イ 対象者	55,477	人における1人あたりのコストは、	115,038	円
ウ 成果(物)		の 出来高		における1
※ 対象者:				のコストは

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容
--	-------------------------------	-----------

②活動実績

【管種替工事】

【市道第3039・3041・3042号線配水管管種替工事】
契約: 令和元年5月28日・工期: 令和元年5月29日～9月17日 延長: 282.9m

【市道第4002・4014・4015・4016号線配水管管種替工事】
契約: 令和元年5月28日・工期: 令和元年5月29日～12月5日 延長: 591.7m

【市道第2087・2088号線配水管管種替工事】
契約: 令和元年8月8日・工期: 令和元年8月9日～11月29日 延長: 212.8m

【市道第6096・6097・6109号線及び市道第6001号線配水管管種替工事】
契約: 令和元年9月26日・工期: 令和元年9月27日～令和2年1月29日 延長: 212.6m

【市道第6163・6165・6168号線配水管管種替工事】
契約: 令和元年10月2日・工期: 令和元年10月3日～令和2年1月21日 延長: 185.5m

【市道第102号線配水管管種替工事】
契約: 令和元年10月29日・工期: 令和元年10月30日～令和2年3月13日 延長: 239.3m

③投入実績

決算の内訳 (単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	217,093	▲ 14,817	202,276	202,071	99.9%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	人	H	人	H
主事・主任職	2人	1,954 H	1人	765 H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○配水管管種替 延長 1,688m		○配水管管種替 延長 1,724.8m

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要)性 <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法)率性 <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成果)効性 <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

平成28年度に策定した「水道管路耐震化更新計画」に基づき耐震化を進め、耐震性能を満たす配水管整備率は、23.3%となった。水道施設を適切に維持管理するらめ、引き続き、市内に布設している耐震性の低い硬質塩化ビニール管などを計画的に管種替えし、耐震化を進めていく必要がある。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

配水管の耐震化については、大規模な地震に備えるための重要な課題であり、着実に進める必要がある。今後も「水道管路耐震化更新計画」に基づき、水道管路の耐震化を計画的に進めていく。

1.基本項目		作成部署		上下水道部		上下水道設備課	
事業名		開始年度		実施期間		事業種別	
00 送水管路の二重化		令和	元 年	その他	自治事務(市独自)	直営	プロジェクト
01			年				
02			年				
03			年				
04			年				
05			年				
関連課	土木課、区画整理推進課						
基本目標4	ひとと環境にやさしい安全で快適なまち	施策区分	32	上水道	管理No.	2	

2.事業の概要

施策の基本方針	安全でおいしい水を安定供給できるよう、水道施設の適切な維持管理および水質管理に万全を期すとともに、事業の健全経営に努めます。
事業内容	現在、1系統となっている浄水場から第一配水場までの送水管路を2系統とするとともに、合わせて管路の耐震化を図ります。
根拠法令	水道法
条例	給水条例
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等		基本設計の事前調査、検討、仕様書作成	基本設計・概算工事費の算出、工事財源の検討、施工時期の検討	基本設計に基づく二重化ルートを検討

4 投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	人	H	1人	260 H	1人	260 H	1人	260 H
主事・主任職	人	H	人	H	人	H	人	H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費	-	3,149	8,640	-
人件費(係長職)		1,250	1,250	1,250
人件費(主任・主事職)				
総事業費(合計)		4,399	9,890	1,250
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)		4,399	9,890	1,250
財源内訳(合計)		4,399	9,890	1,250

③コスト計算

ア 市民	55,565	人における1人あたりのコストは、	22,545	円
イ 対象者	55,477	人における1人あたりのコストは、	22,581	円
ウ 成果(物)		の 出来高		における1
※ 対象者:				のコストは

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容

②活動実績

【送水管路二重化基本設計支援業務委託】
 契約: 令和元年8月26日 工期: 令和元年8月27日～令和2年1月31日

③投入実績

決算の内訳 (単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	3,149	-	3,149	2,991	95.0%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	260 H	1人	200 H
主事・主任職	人	H	人	H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○送水管路二重化基本設計の事前調査・検討		○送水管路二重化基本設計の事前調査・検討

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効率性(手法) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input checked="" type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有効性(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

浄水場から第1配水場までの送水管については、昭和41年に布設した管があり、すでに53年が経過しており、水道施設を適切に維持管理をするため、耐用年数や経年劣化等の状況から、令和元年度から二重化に向けた新設ルート案や布設工法などを検討した。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

送水管の二重化については、引き続き既設送水管の耐震化や浄水場のポンプ等の運用方法などを含めて、検討を進めていく。

1.基本項目		作成部署	上下水道部		上下水道設備課	
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00	羽村駅西口土地区画整理事業地区の配水管網の整備	平成 22 年	その他	自治事務(市独自)	直営	
01		年				
02		年				
03		年				
04		年				
05		年				
関連課		区画整理推進課、区画整理総務課				
基本目標4		ひとつと環境にやさしい安全で快適なまち	施策区分	32	上水道	管理No. 3

2.事業の概要

施策の基本方針	安全でおいしい水を安定供給できるよう、水道施設の適切な維持管理および水質管理に万全を期すとともに、事業の健全経営に努める。
事業内容	土地区画整理事業の進捗状況にあわせ、配水管網の整備を行います。
根拠法令	水道法
条例	給水条例
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	区画道路第9号 配水管布設替 96m (羽村大橋周辺) 区画道路第10号 配水管布設 115m (羽村駅周辺) 区画道路第11号 配水管布設替 110m (川崎一丁目エリア)	区画道路第12号 配水管布設替 38m (羽村大橋周辺) 区画道路第13号 配水管布設替 177m (川崎一丁目エリア)	配水管布設替 ※施工箇所は、事業の進捗状況において決定	同左

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	人	H	人	H	人	H	人	H
主事・主任職	2人	261 H	2人	261 H	2人	261 H	2人	261 H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費	12,744	17,416	-	-
人件費(係長職)				
人件費(主事・主任職)	1,647	1,647	1,647	1,647
総事業費(合計)	14,391	19,063	1,647	1,647
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源	7,333	17,416		
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	7,058	1,647	1,647	1,647
財源内訳(合計)	14,391	19,063	1,647	1,647

③コスト計算

ア 市民	55,565	人における1人あたりのコストは、	29,953	円
イ 対象者	55,477	人における1人あたりのコストは、	30,000	円
ウ 成果(物)		の 出来高		における1
※ 対象者:				のコストは

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容
--	-------------------------------	-----------

②活動実績

【配水管布設替工事】

【区画道路第13号配水管布設替工事】

契約: 令和元年10月2日 工期: 令和元年10月3日～令和2年2月28日 延長: 199.7m

【区画道路第12号配水管布設替工事】

羽村駅西口土地区画整理事業における羽村大橋周辺の埋蔵文化財遺跡調査に時間を要したため、本工事を令和2年度事業に変更した。

③投入実績

決算の内訳 (単位: 千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	17,416	▲ 3,000	14,416	13,154	91.2%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	人	H	人	H
主事・主任職	2人	522 H	1人	96 H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○布設替延長 215m		○布設替延長 199.7m

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必)当(要)性 <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手)率(法)性 <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成)効(果)性 <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

水道施設を適切に維持管理するため、区画道路第13号配水管布設替工事については、羽村駅西口土地区画整理事業にあわせて、効率的に配水管網の整備に取り組んだ。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

羽村駅西口土地区画整理事業の進捗にあわせて配水管網の整備を実施して行く。

1.基本項目		作成部署	上下水道部		上下水道業務課	
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00	はむらの水PR事業の充実 ※施策21と重複	平成 28 年	継続	自治事務(市独自)	直営	○
	01	年				
	02	年				
	03	年				
	04	年				
	05	年				
関連課		環境保全課、産業振興課				
基本目標4		ひとと環境にやさしい安全で快適なまち	施策区分	32	上水道	管理No. 4

2.事業の概要

施策の基本方針	安全でおいしい水を安全供給できるよう、水道施設の適切な維持管理および水質管理に万全を期すとともに、事業の健全経営に努めます。
事業内容	独自の水道事業を展開する羽村市を前面に出し、「安くておいしい良質な水」を利用する価値を広く周知することで、市民の羽村市への愛着を育むとともに、市へ進出、移住を検討する企業・住民をターゲットとしたシティプロモーションに取り組みます。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	リーフレット「水だより」を作成し、水道使用者に向けて全戸配布実施	同左	同左	同左
	市内不動産事業者にリーフレット「水だより」の窓口配布を依頼	同左	同左	同左
	イベント等で水の飲み比べ「きき水」体験の実施	同左	同左	同左
	水の保全に関する宣言は、庁内プロジェクト会議で意見聴取	水の保全に関する宣言は、庁内プロジェクト会議で意見聴取及び集約		
		宣言に向けた基本方針の策定		
		宣言に関するスケジュールの作成		
	「水はむら」オリジナルラベルの製造	同左	同左	同左
	水道応援団の立ち上げ	水道応援団の活動支援	同左	同左

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	30H	1人	60H	1人	60H	1人	60H
主事・主任職	1人	40H	1人	10H	1人	10H	1人	10H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費	756	756	756	756
人件費(係長職)	145	289	289	289
人件費(主任・主事職)	127	32	32	32
総事業費(合計)	1,028	1,077	1,077	1,077
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額	756	756	756	756
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	272	321	321	321
財源内訳(合計)	1,028	1,077	1,077	1,077

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の出来高 における1 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

リーフレット「水だより」を作成し、水道使用者に全戸配布するとともに、市内不動産業者に窓口配布を依頼した。
 はむら花と水のまつりほか、各種イベントにおいて、「きき水」・「水はむら」の試飲・販売等、PR事業を行った。
 また、「水はむら」オリジナルラベルの製造希望者(1団体)に計2,016本(84箱)分のオリジナルラベルによる「水はむら」を製造し、納品した。
 水道応援団の活動支援として、9月に意見交換会を実施した。
 水の保全に関する宣言の制定については、庁内プロジェクト会議において意見を集約し進めており、制定時期を絞り込んでいくことで具現化を図る検討を進めた。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	756	-	756	369	48.8%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	60H	1人	60H
主事・主任職	1人	10H	1人	10H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○「水だより」の作成、配布 ○「きき水」体験の実施 ○水の保全に関する宣言の制定 ○オリジナルラベルによる「水はむら」の製造 ○水道応援団の活動支援	⇒ <ul style="list-style-type: none"> ○「水だより」の作成、配布 ○「きき水」体験・水はむら試飲イベントの実施 ①市内イベント: はむら花と水のまつり、水道週間(水道事務所)、環境フェスティバル(ゆとろぎ)、産業祭 ②市外イベント: 西多摩フェア(イオンモール日の出)、多摩の魅力発信イベント(豊洲市場)、まるごと多摩マルシェ(昭島市モリパークアウトドアヴィレッジ) ○水の保全に関する宣言の検討 ○オリジナルラベルによる「水はむら」の製造 ○水道応援団の活動支援

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性(必要性) <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 () 	A
効率性(手法) <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 () 	A
有効性(成果) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input checked="" type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった 	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

健全な水道事業経営を行うために、安くておいしい良質な「はむらの水」を広く周知し、水道水の需要を高めていく必要があり、本事業は推進していくべきものであると捉えている。令和元年度は、体験型PR事業である「きき水」を市内外で実施し、2,200人を超える方に「はむらの水」を体感いただくことができたことや、市外のイベントにおいて販売促進の一環として「水はむら」の試飲を行い、売り上げの増加につなげることができた。また、全戸への「水だより」の配布、オリジナルラベルによる「水はむら」の製造(計2,016本)、水道応援団の活動支援(意見交換会の実施)など、予定していた事業を実施することができた。

Action【改善】

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

はむらの水のPR事業のため、水道応援団の継続的な活動の支援を行うとともに、これまでイベントなどで実施した「きき水」のデータを可視化して活用することを検討していく。また、「水はむら」のオリジナルラベルの製造について、引き続き募集を行いPR活動に努めていく。なお、水の保全に関する宣言の制定について、庁内プロジェクト会議において意見を集約し進めていくこととする。

1.基本項目	作成部署	上下水道部		上下水道設備課	
事業名	開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 危機管理体制の強化	不明	年	継続	自治事務(市独自)	直営
01		年			
02		年			
03		年			
04		年			
05		年			
関連課					
基本目標4 ひとと環境にやさしい安全で快適なまち	施策区分	32	上水道	管理No.	5

2.事業の概要

施策の基本方針	安全でおいしい水を安定供給できるよう、水道施設の適切な維持管理および水質管理に万全を期すとともに、事業の健全経営に努める。
事業内容	水安全計画の運用および水質検査機器などの更新により、危機管理体制の強化を図ります。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	末端給水栓連続自動水質監視装置設置工事 第1水源、第3水源、第2配水場監視カメラ設置工事 水道施設監視カメラ設置及び第1水源フェンス改修工事 実施設計業務委託 TOC計購入	ガスクロマトグラフ質量分析計更新 第一水源フェンス改修工事	ICP分析装置更新 魚監視装置取替	蒸留水装置購入

4 投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	人	H	1人	40 H	人	H	人	H
主事・主任職	人	H	人	H	人	H	人	H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費	114,697	24,213	41,487	525
人件費(係長職)		193		
人件費(主任・主事職)				
総事業費(合計)	114,697	24,406	41,487	525
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	114,697	24,406	41,487	525
財源内訳(合計)	114,697	24,406	41,487	525

③コスト計算

ア 市民	55,565	人における1人あたりのコストは、	3,895	円
イ 対象者	55,477	人における1人あたりのコストは、	3,902	円
ウ 成果(物)		の 出来高		における1
※ 対象者:				のコストは

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容

②活動実績

【ガスクロマトグラフ質量分析計更新】

契約: 令和元年5月28日 工期: 令和元年5月29日～9月26日

【第1水源フェンス改修工事】

契約: 令和元年9月2日 令和元年9月3日～令和2年2月26日

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	24,213	-	24,213	22,932	94.7%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	40 H	1人	23 H
主事・主任職	人	H	人	H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○ガスクロマトグラフ質量分析計更新 ○第1水源フェンス改修工事		○ガスクロマトグラフ質量分析計更新 ○第1水源フェンス改修工事

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性 (必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効率性 (手法) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有効性 (成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

安全でおいしい水を供給するため、水質検査機器であるガスクロマトグラフ質量分析計の更新を実施した。
 また、危機管理体制の強化のため、有害物質の不法投棄や不法侵入者などに対応した防犯対策として第1水源フェンス改修工事を実施した。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

安全でおいしい水を供給するため、水道施設の適切な維持管理及び水質管理を万全な体制に図って行く。